

確かめプリント【中学校二年生】書くこと①



年 組 番 名 前

図書委員会では、読書を推進するためのキャラクターを募集し、選考を行いました。次は、「選考会で出された意見」と、それをもとに図書委員の中山さんが書いた図書だよりの【記事の下書き】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【選考会で出された意見】

・キャラクター候補

「本だなん」



- 本棚をもとにしたキャラクターなので、本の印象が強くてよい。
- 楽しそうな雰囲気が出ていてよい。
- 楽しそうな雰囲気ですが、読書を勧めている感じがしない。

・キャラクター候補

「読むゾウくん」



- キャラクター名の言葉の響きが読書を勧めている感じがしてよい。
- 耳やしっぽのデザインが面白くてよい。
- デザインは面白いが、身近にいる動物の方がよい。

【記事の下書き】

キャラクター「読むゾウくん」に決定

もつとたくさん本を読もう

読書を推進するためのキャラクターが、「読むゾウくん」に決まりました。

選考会では「本だなん」との決戦になりました。

「本だなん」については、本の印象が強いし、楽しそうな雰囲気が出ていてよいという意見が出ましたが、読書を勧めている感じがしないという指摘がありました。

「読むゾウくん」については、

、デザインが面白いし、キャラクター名の言葉の響きが読書を勧めている感じがしてよいという意見が支持されました。

これらの意見から、読書を推進していくには「読むゾウくん」がふさわしいということになりました。

一 中山さんは、【記事の下書き】の見出しを「もっとたくさん本を読もう」から「キャラクター『読むゾウくん』に決定」と変更しました。その理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

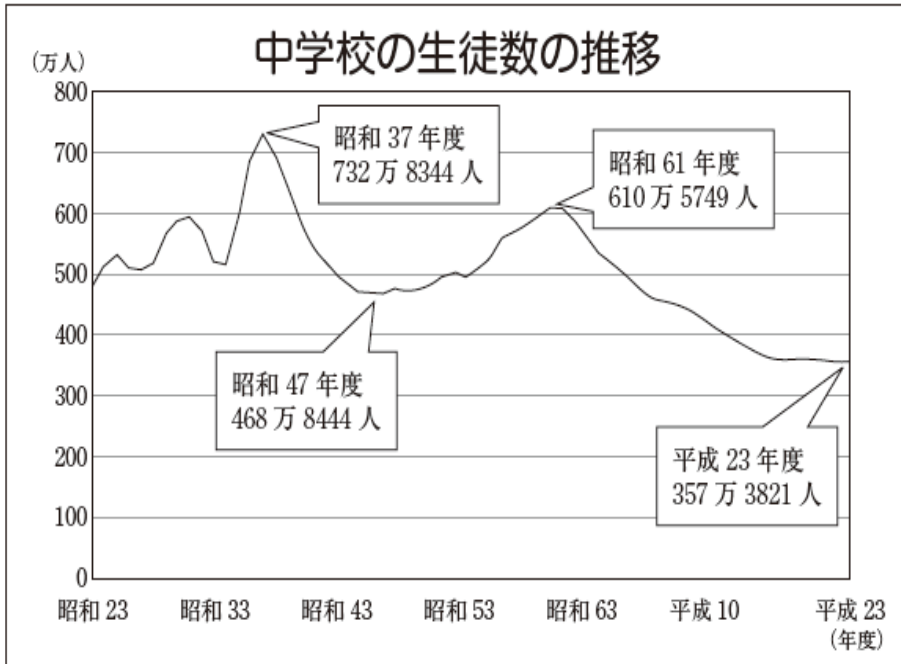
- 1 選考会での意見を紹介することが、この記事の目的だから。
- 2 キャラクターの決定を知らせることが、この記事の目的だから。
- 3 読書を推進する方法を募ることが、この記事の目的だから。
- 4 キャラクターの特徴を紹介することが、この記事の目的だから。

確かめプリント【中学校二年生】書くこと②

年 組 番 名 前

次は、「中学校の生徒数の推移」を表した「グラフ」と、それをもとに山村さんが書いている「レポートの文章の一部」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【グラフ】



(文部科学省「平成 23 年度 学校基本調査報告書」による。)

【レポートの文章の一部】

生徒数の減少について

「全国の中学生が、昔と比べて減ってきている」という話から、私はインターネットで中学校の生徒数の推移を調べてみました。

『平成二十三年度 学校基本調査報告書』によると、平成二十三年度の生徒数は、昔と比べて半数以下になっていることが分かります。しかし、昭和四十七年度から昭和六十一年度にかけては、多少の増減はあるものの増加しています。そして、昭和六十一年度から平成二十三年度にかけては、減少しています。このグラフを見て、私が疑問に思ったのは、昭和四十七年度から昭和六十一年度にかけて生徒数が増加しているのはなぜだろうかということですが、その間に起こった社会の出来事について調べてみたいと思います。

様々な要因が考えられますが、まずは、その間に起こった社会の出来事について調べてみたいと思います。



確かめプリント【中学校二年生】書くこと③



年 組 番 名 前

次は、美化委員会に対して寄せられた【要望】と、美化委員会が掲示板に掲示する予定の【回答A】、【回答B】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【要望】

美化委員会へ

美化委員会に要望があります。

現在、美化委員会では毎朝花壇に水やりを行っています。それを、放課後も行っただけではどうでしょうか。これからの時期は暑くなり、朝の水やりだけでは足りないと思います。ぜひ、検討してください。

【回答A】

委員会で検討したところ、「指摘はもっともだ」、「放課後は、委員も部活動に出るのでできない」など、様々な意見が出されました。その結果、「委員だけで放課後に水やりを行うことは難しい」ということになりました。

そこで、生徒の皆さんからもボランティアを募集して、放課後の水やりを行っていきます。

美化委員長 小林 太郎



【回答B】

下田 憲一

委員会で検討した結果、「委員だけで放課後に水やりを行うことは難しい」ということになりました。そこで、生徒の皆さんからもボランティアを募集して、放課後の水やりを行っていきます。

話し合いの中では、「指摘はもっともだ」という意見もあった一方で、「放課後は、委員も部活動に出るのでできない」という意見が出され、このような結論になりました。

美化委員長 小林 太郎

下田 憲一

レベル8

一 【回答案A】と【回答案B】の書き方の違いについて説明したものととして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選
びなさい。

- 1 【回答案A】では感想を述べてから事実を説明し、【回答案B】では事実を説明してから感想を述べている。
- 2 【回答案A】では事実を説明してから感想を述べ、【回答案B】では感想を述べてから事実を説明している。
- 3 【回答案A】では検討の経過を説明してから結論を述べ、【回答案B】では結論を述べてから検討の経過を説明している。
- 4 【回答案A】では結論を述べてから検討の経過を説明し、【回答案B】では検討の経過を説明してから結論を述べている。

レベル9

二 【回答案A】の冒頭に、次の一文を入れて掲示することになりました。□に当てはまる適切な言葉を十八字以内で書きなさい。

□

という要望について回答します。

3の一

3の二

--	--

確かめプリント【中学校二年生】書くこと④



年 組 番 名前

山田さんは、国語の授業で、絵をもとに物語を創作しています。次は、「提示された絵」と「物語の下書き」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【物語の下書き】

【提示された絵】



本当にくだらない理由だった。冗談で言った一言が、あんなに勇太を怒らせるなんて……。

あの日以来、勇太とは口をきいていない。今日の遠足で、仲直りをしようと思っただけれど、謝るきっかけが見つからない。僕の心は沈んでいた。学校を出発したときにはまぶしかった太陽も、今は雲に隠れてしまっていた。

今日も仲直りできないと諦めかけた帰り道、僕は石につまずいて転んでしまった。

「痛い。」

僕は、右膝みまひざを抱えた。

「大丈夫か。」

勇太だった。いつもの優しい声だった。

その声を聞いて、僕は心に決めた。

「この前はごめん。」

「もういいよ。そんなことより、足、大丈夫か。」

そう言いながら、勇太は僕に手を差し出してくれた。

「大したことないよ。」

見上げた勇太の後ろには、

A

僕は立ち上がり、勇太と肩を並べて歩き始めた。また、仲良く過ごせると思うと、僕はうれしくなった。

レベル6

一 線部では、曇り空の情景を使って、すっきりしない主人公の気持ちを表現していますが、その後、主人公の気持ちは変化しています。その気持ちの変化を効果的に表現するために、**A**の部分に、この場面にふさわしい空の描写を書き加えたいと思います。書き加える描写として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 いつの間にか雨が上がって虹がかかっていた
- 2 いつの間にか雲が晴れて青空が広がっていた
- 3 いつの間にか重苦しい雲が立ち込めていた
- 4 いつの間にか夕方の薄暗い空が広がっていた

4の一

レベル8

二 僕が勇太と仲直りができたうれしさを読み手に印象深く伝えるために、**線部**「僕はうれしくなった」を次のように書き換えました。次の()に当てはまる言葉を考えて、**五字以内**で書きなさい。

僕の心は ()。

4の二

【パンフレットの下書きの一部】

弓道を知ろう

弓道は、弓矢で的を射る一連の動作を通し、心身の鍛錬をする日本の武道です。

■ 弓道の道具

「弓」の長さは、221cm前後です。「矢」の長さに規定はなく、本人の腕の長さによって決めます。これらは、竹をはじめとする様々な素材で作られます。



弓

矢

■

近的競技と遠的競技という二つの種目があります。近的競技は、通常、的までの距離が28mで、直径36cmの的を使用します。それに対して、遠的競技は、通常、的までの距離が60mで、直径100cmの的を使用します。

■ 弓道から生まれた言葉

「図星を指されて動揺した」のように使われる「図星」という言葉は、弓道から生まれたと言われています。

弓道の「的」には、「霞的^{かすみまと}」や「星的^{ほしまと}」などがあります。

「図星」とは、星的の中心に描かれた黒い点のことです。弓で矢を射るときに図星を狙うことから、「目当ての所」、「急所」という意味で使われるようになりました。



霞的



星的

山本さんは、日本の武道である「弓道」について調べたことを紹介するためのパンフレットを作成しています。次は、「パンフレットの下書きの一部」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

年 組 番 名 前

確かめプリント【中学校二年生】書くこと⑤



確かめプリント【中学校二年生】書くこと⑥

年 組 番 名 前



山田さんのグループでは、北極と南極について調べたことを、「Q & A」(Question and Answer…質問と、それに対する答え)の形式でまとめています。次は、「北極点と南極点では、どちらの平均気温が低いのか?」というQ(質問)に対して作成している【山田さんの答え】と【鈴木さんの答え】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【山田さんの答え】

南極点です。

1年間の平均気温は、南極点では約 -50°C ですが、北極点では約 -18°C です。一般的に、海と陸とを比べると、陸の方が冷たくなりやすいという性質があります。また、標高が高い方が気温が低くなり、⑦なります。実際に、南極点は大陸にありますが、北極点には海や氷が広がっています。そして、南極点の高さは約2800mですが、北極点はほぼ海面と同じです。

【鈴木さんの答え】

北極点は「海」にあり、南極点は「大陸」にあります。一般的に、海より陸の方が冷たくなりやすいという性質があります。また、南極点は北極点より標高が高く、標高が高い方が気温が低くなります。1年間の北極点の平均気温は約 -18°C ですが、南極点は約 -50°C です。

一 山田さんは、自分の答えを読み返して、㊦のように直しました。その意図として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 時間の流れに沿って内容を並べ替えて分かりやすくするため。
- 2 引用と自分の意見を区別して分かりやすくするため。
- 3 異なる二つの内容を整理して分かりやすくするため。
- 4 専門的な語句を一般的な語句に言い換えて分かりやすくするため。

確かめプリント【中学校二年生】書くこと⑦



年 組 番 名 前

次は、高島さんが自分の体験をもとにして書いた【物語の下書き】と、それを読んだ友達からの【助言】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【物語の下書き】

明日に迫った合唱コンクールに向けて、健一たちは練習をがんばってきた。

そしていよいよ本番に向けての最後の練習。張りつめた空気の中、指揮者の動きとともに歌声とピアノの音が静かに止まる。

一瞬の静寂のあと、指揮をしていたカオルが満面の笑みで言った。

「今までで一番よかったよ。」

皆の顔にも笑みが浮かんだ。

「この調子なら明日もよい歌が歌えそうだ。」

と、健一は思わずつぶやいた。

【助言】

① 皆ががんばって練習している様子が伝わるように、会話を増やすとよい。

② この出来事が学校のどこで起きているのかが分かるように、場所を示すとよい。

③ 緊張した雰囲気がやわらいだことが分かるように、情景の描写を加えるとよい。

④ 練習の大変さが伝わるように、過去の練習の場面を入れるとよい。

レベル7

一 高島さんは、【物語の下書き】を読み返し、――線部「練習をがんばってきた」を、それまでがんばってきた様子が読み手により伝わるように書き直すことにしました。次の□に当てはまる言葉を、「がんばる」という単語を使わずに、十五字以内で書きなさい。

健一たちは

□

7の一

□

レベル7

二 高島さんは、【助言】を参考にして、【物語の下書き】の< のところに次の一文を書き加えることにしました。高島さんが参考にした【助言】はどれですか。【助言】の①から④までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

窓から吹き込んでくるさわやかな風が、「あと一日」と書いたカレンダーを揺らす。

7の二

□

【下書き】

生徒会だより

第一中学校生徒会

《生徒会長候補》

2年1組 池田 一郎

〈立候補者から〉

生徒が生き生きと活躍できる学校にします！

○ 意見箱の活用

生徒会の意見箱に入れられた提案などは、その内容を皆さんに伝え、全校生徒で考えます。

○ 生徒会だよりの活用

皆さんががんばっている様子を生徒会だよりで紹介し、第一中学校の生徒のよさを学校全体に広めます。

〈推薦者から〉

池田さんは、地道に努力する人です。所属するサッカー部では、いつも他の人より先にグラウンドに行って、一生懸命に基礎的な練習をしています。

また、周りの人たちのことを考えて行動する人です。

池田さんは、第一中学校の生徒会長としてふさわしい人だと思います。

(2年1組 林 花子)

次は、第一中学校の生徒会役員選挙を特集した生徒会だよりの【下書き】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

年 組 番 名 前

確かめプリント【中学校二年生】書くこと⑧



〈立候補者から〉の欄の書き方を説明したものととして最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 始めに具体的に組み組みたいことを二つ書き、最後に目標をまとめて書いている。
- 2 具体的に組み組みたいことを二つ書き、全体を通した目標は示さずに書いている。
- 3 始めに目標を示し、次に具体的に組み組みたいことについて並べて書いている。
- 4 始めと終わりに全体を通した目標を示し、具体的に組み組みたいことをその間に書いている。

8

図書だより

第一中学校図書委員会

電子書籍を読んでみませんか？

○ 電子書籍とは？

パソコンの画面などで読むことができる電子化された書籍のことです。



○ 電子書籍を読むには？

家にパソコンなどがなくても、市立図書館に行くと読むことができます。ぜひ一度、体験してみませんか。

A

○ おすすめの電子書籍は？

『私たちの町の歴史』という本をおすすめします。私たちの暮らす地域がどのように発展してきたかが紹介されています。

○ 利用の仕方を詳しく知るには？

電子書籍の利用の仕方を詳しく書いたパンフレットが学校図書館にあります。興味がある人は学校図書館に来てください。

【図書だよりの下書き】

次は、図書委員の鈴木さんが書いた【図書だよりの下書き】と、それを読んだ他の図書委員から出された【意見1】と【意見2】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

確かめプリント【中学校二年生】書くこと⑨

年 組 番 名前



【意見1】

市立図書館のパソコンを利用するには、受付で申し込めばよいことを伝えよう。

【意見2】

市立図書館のパソコンは、数に限りがあることも書いておくとよい。

鈴木さんは、【図書だよりの下書き】の A の部分に、【意見1】と【意見2】の両方の内容を一文で書き加えることにしました。次の [] に当てはまる言葉を、「なお、市立図書館では、」に続けて、三十字以内で書きなさい。

なお、市立図書館では、 []

9							
	な	お	、	市	立	図	書
館	で	は	、				

確かめプリント【中学校二年生】書くこと⑩



年 組 番 名前

レベル7

田中さんは、「日本の食文化」というテーマで意見文を書いています。次は、田中さんが書いた【意見文の下書き】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。(1から4は、段落の番号を表します。)

【意見文の下書き】

- 1 日本で昔から親しまれてきた緑茶。例えば、「日常茶飯事」という言葉があるが、この言葉は「日常のありふれたこと」という意味で使う。このように緑茶は、日本では人々にとって生活そのものと深く結び付いた存在である。その緑茶の人氣が海外で高まっているという。
- 2 私たちの身の回りを見てみると、緑茶は家の中だけでなく屋外でも飲まれることが多くなった。また、和菓子だけでなく、アイスクリームやチョコレートなどの洋菓子里に緑茶が使われることも多くなった。お店で見かける緑茶を使った商品の種類は年々増えてきていて、日本でもその人氣が高まってきているように感じる。
- 3 財務省の平成二十八年の貿易統計によると、十年前と比べ、緑茶の海外への輸出量は二倍以上、輸出額は三倍以上になっている。また農林水産省のウェブページには、「世界的な健康志向の高まりから、各国における緑茶の需要が増加」と書かれている。これらのことは、海外で緑茶の人氣が高まっていることの裏付けと言える。
- 4 昔から親しまれ、様々な食品に用いられるようになってきた緑茶が、海外でも注目されている。私は、緑茶の食品としてのよさだけでなく、私たちの生活そのものと深く結び付いていることも海外の人に理解してほしい。そのために、まず私自身が緑茶についてもっとよく調べて理解を深めたい。緑茶の他にも、私たちの身の回りには、生活そのものと深く結び付いた食品がきっとあるはずだ。皆さんもこのことに目を向け、改めて日本の食文化について見つめ直してはどうだろうか。

田中さんは、読み手が理解しやすいように【意見文の下書き】の②段落と③段落の内容を入れ替えて書き直すことにしました。その理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 ①段落で述べた事柄に対して、自分の意見を直後に示す方が読み手が理解しやすいと考えたから。
- 2 ①段落で述べた事柄に対して、根拠となる事実を直後に示す方が読み手が理解しやすいと考えたから。
- 3 ④段落で述べる事柄に対して、他の人の意見を直前に示す方が読み手が理解しやすいと考えたから。
- 4 ④段落で述べる事柄に対して、予想される反論を直前に示す方が読み手が理解しやすいと考えたから。

確かめプリント【中学校二年生】書くこと⑪

年 組 番 名 前

埼玉県学力学習状況調査



青木さんは、「地域と私たちとのつながり」というテーマで意見文を書いています。次は、青木さんが書いた【意見文の下書き】と、読み返したあと新たに取材して見付けた、青木さんが住んでいる地域の【広報誌の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【意見文の下書き】

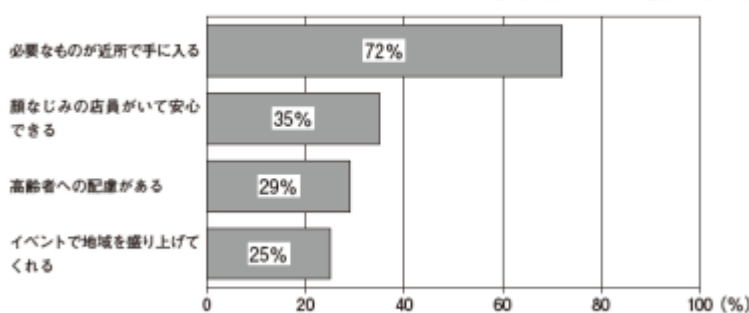
最近、我が家ではインターネットを利用して買い物をする機会が増えている。それは、店に行かなくても豊富な商品を選べる上、重い荷物を持たなくてよいからだ。母も「便利になった。」と喜んでいる。これは、インターネットでの買い物ならではのことだ。しかし、^①皆が買い物も多くをインターネットで済ませるようになったら、地域の店はいったいどうなってしまうのだろうか。

地域の店はこれからも必要だ。なぜなら、地域の店には、インターネットでの買い物にはない魅力があるからだ。私は昨年度、学校の近くの店で職場体験をした。その店では、インターネットでは出回らない、地元の特産品を販売していた。私が自宅で使っている箸もその店で買ったもので、地元の木で作られている。他では買えないその土地ならではの商品を、手に取って選ぶことができるのは、地域の店の魅力だ。

^②我が家でも買物の仕方を見直し、インターネットだけでなく地域の店も積極的に利用し、その店を通して地域の魅力をどんどん見付けていきたい。皆さんも毎日の暮らしに目を向けて、地域とのつながりについて改めて考えてみてはどうだろうか。

利用者が感じる地域の店の魅力

(回答者数360人・複数回答可)



(平成30年8月 青空商店街調べ)

【広報誌の一部】

青木さんは、読み手にとってより分かりやすい文章にするために、「意見文の下書き」の①のところに言葉を入れて書き直すことにしました。書き加える言葉として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 たとえ我が家がインターネットを利用しても、
- 2 たとえ我が家が地域の店を利用しなくても、
- 3 いくらインターネットが便利でも、
- 4 いくら地域の店が便利でも、

